

1 学習・自己啓発・訓練

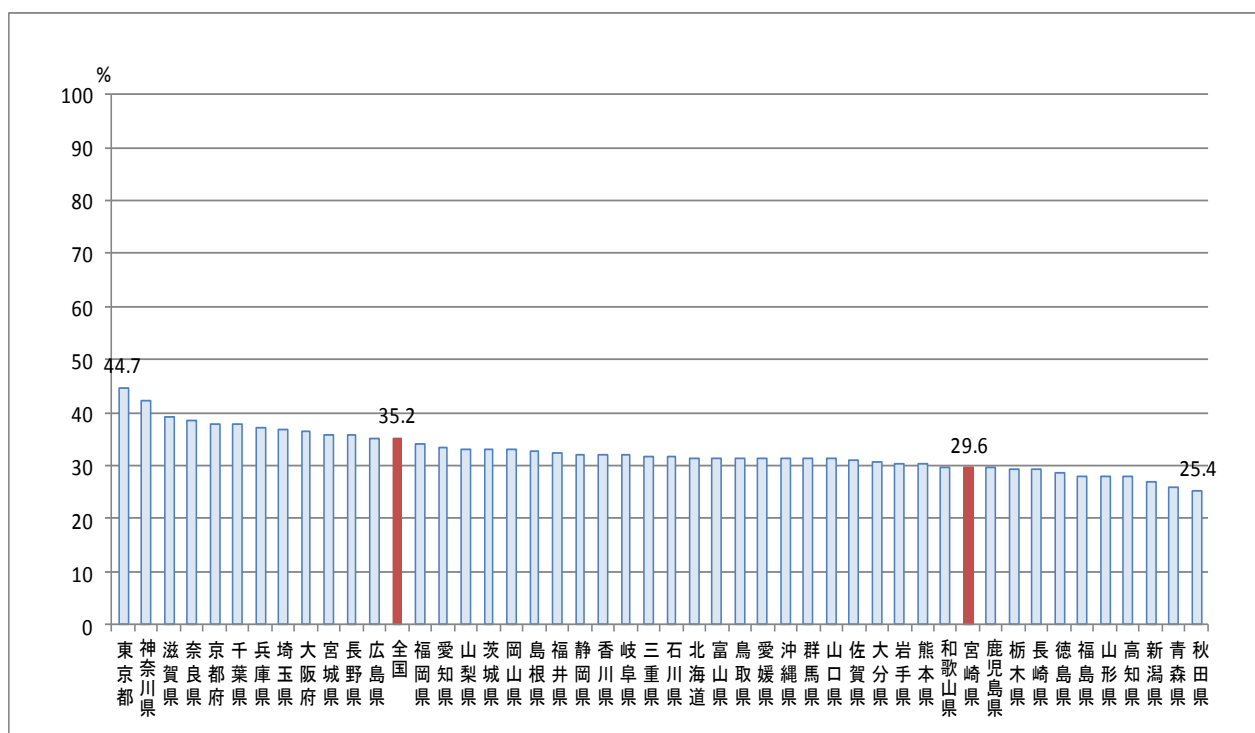
(1) 1年間に「学習・自己啓発・訓練」を行った人は29万4千人、行動者率は29.6%。

過去1年間（平成22年10月20日～23年10月19日。以下同じ）に本県の10歳以上（推定99万2千人。以下同じ）で「学習・自己啓発・訓練」を行った人の数（行動者数。以下同じ。）は29万4千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率。以下同じ。）は29.6%となっている。これは全国平均の35.2%に比べ5.6ポイント低く、全国順位で見ると第37位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が13万6千人、女性が15万8千人となっており、行動者率は男性が29.3%、女性が29.9%で、女性が男性より0.6ポイント高くなっている。

本県の行動者率は平成18年と比べると、0.3ポイント上昇している。これを男女別にみると、ともに0.3ポイントの上昇となっている。（図1-1）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率（10歳以上）

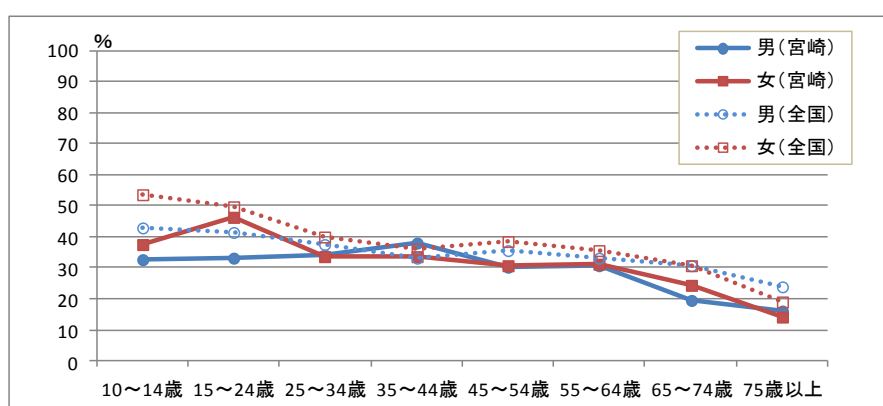


(2) 男女ともにほとんどの年齢階級で行動者率が全国平均を下回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、若い世代では女性の方が男性を上回っており、特に15～24歳では女性と男性の差は13.3ポイントとなっている。

また、本県と全国を比べてみると、男性は35～44歳のみ全国平均を上回り、その他の年齢階級ではすべて全国平均を下回っている。特に10～14歳、65～74歳では大きく下回っている。女性はすべての年齢階級で全国平均を下回っており、特に10～14歳では大きく下回っている。(図1-2)

図1-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「学習・自己啓発・訓練」行動者率

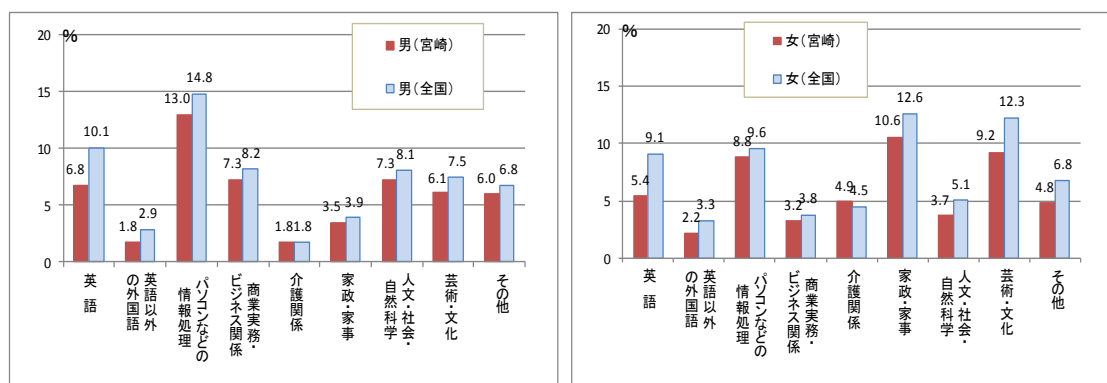


(3) 男女ともに「介護関係」の行動者率以外は全国を下回る。

種類別に本県の行動者率をみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が最も高く、次いで「商業実務・ビジネス関係」、「人文・社会・自然科学」が高い。女性は「家政・家事」が最も高く、次いで「芸術・文化」、「パソコンなどの情報処理」の順となっている。

全国と比較すると、男女ともに介護関係は全国平均と同水準か上回っているが、その他の種類はすべて全国平均を下回っている。特に英語は男女ともに全国平均を大きく下回っている。(図1-3)

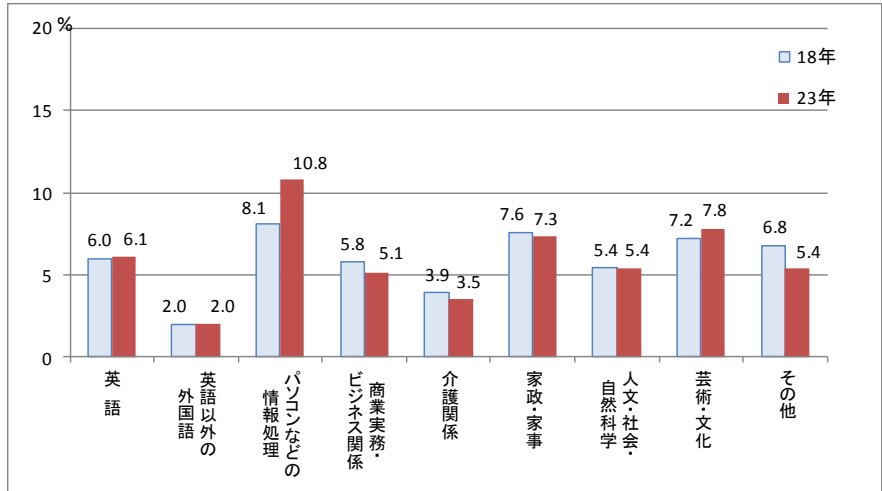
図1-3 本県と全国の男女別、種類別「学習・自己啓発・訓練」行動者率



(4) 「パソコンなどの情報処理」が5年前と比べて上昇。

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、上昇が一番大きいものは「パソコンなどの情報処理」で2.7ポイントの上昇、低下が一番大きいものは「商業実務・ビジネス関係」で0.7ポイントの低下となっている。(図1-4)

図1-4 本県の「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率(平成18年、23年)

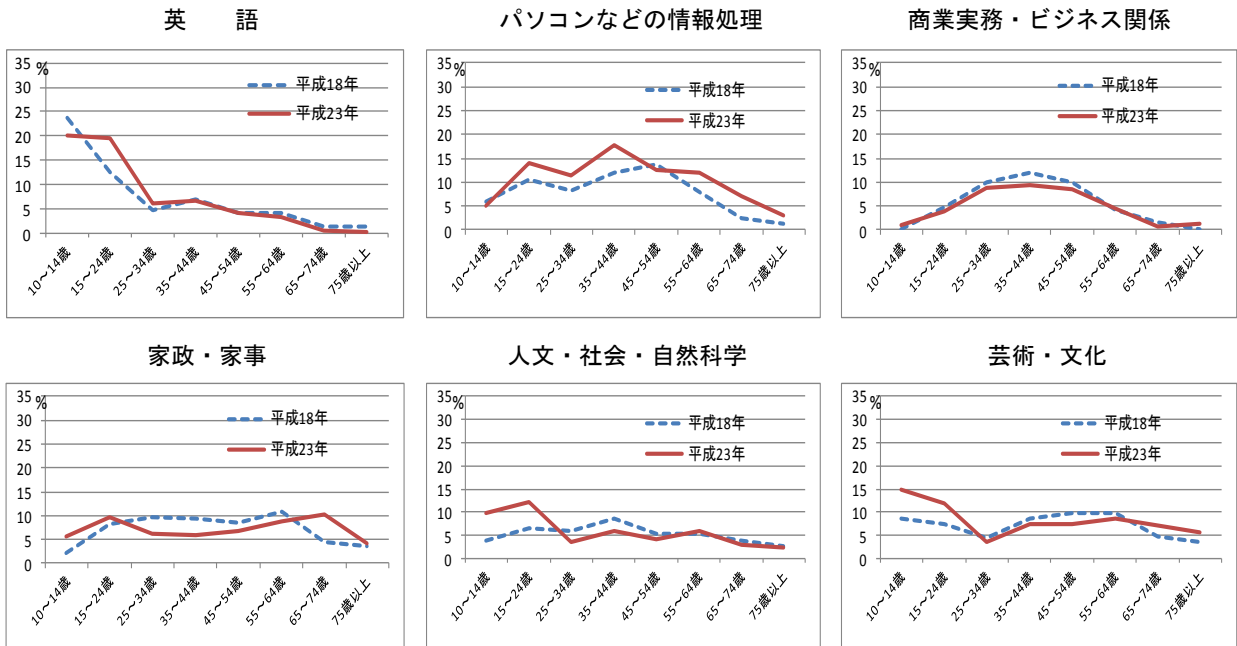


(5) ほとんどの年齢階級で「パソコンなどの情報処理」が上昇。

「学習・自己啓発・訓練」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成18年と比べると、「パソコンなどの情報処理」はほとんどの年齢階級で上昇している。

また10~24歳については、「人文・社会・自然科学」、「芸術・文化」が上昇している。(図1-5)

図1-5 本県の「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率(平成18年、23年)



2 ボランティア活動

(1) 1年間に「ボランティア活動」を行った人は27万6千人、行動者率は27.8%。

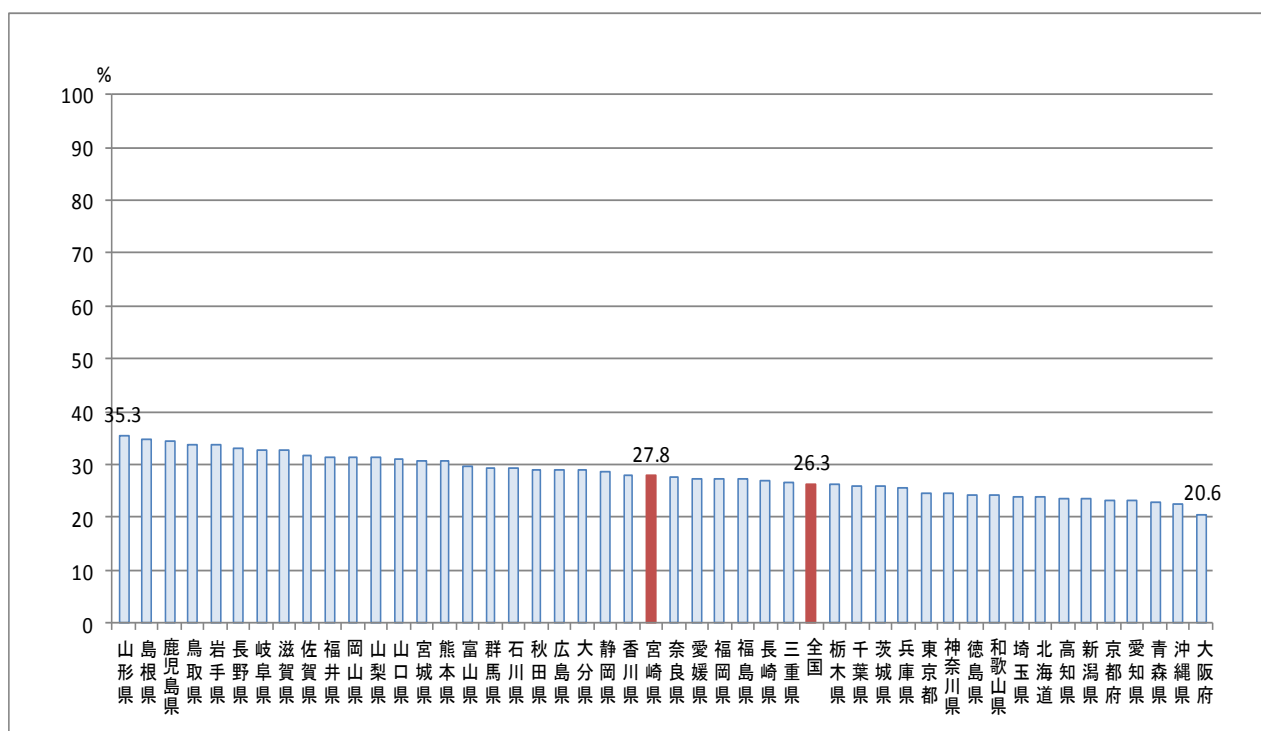
過去1年間の本県の10歳以上の「ボランティア活動」の行動者数は27万6千人で、10歳以上の行動者率は27.8%となっている。これは全国平均の26.3%に比べ1.5ポイント高く、全国順位で見ると第23位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が13万6千人、女性が14万人となっており、行動者率は男性が29.3%、女性が26.5%で、男性が女性より2.8ポイント高くなっている。

本県の行動者率は平成18年と比べると、3.2ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が1.8ポイント低下、女性が4.4ポイント低下となっている。

(図2-1)

図2-1 「ボランティア活動」の行動者率（10歳以上）

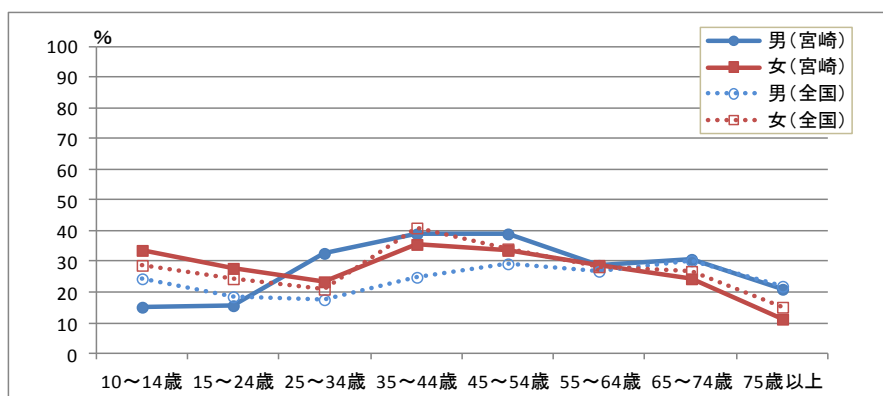


(2) 特に男性は25～54歳、女性は10～24歳が全国平均を上回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、10～24歳では女性が男性を上回り、25～54歳及び65歳以上については男性が女性を上回っている。

また、本県と全国を比べてみると、男性の25～74歳は全国平均を上回り、それ以外では全国平均を下回っている。女性は10～34歳と55～64歳は全国平均を上回り、それ以外では全国平均を下回っている。(図2-2)

図2-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「ボランティア活動」行動者率

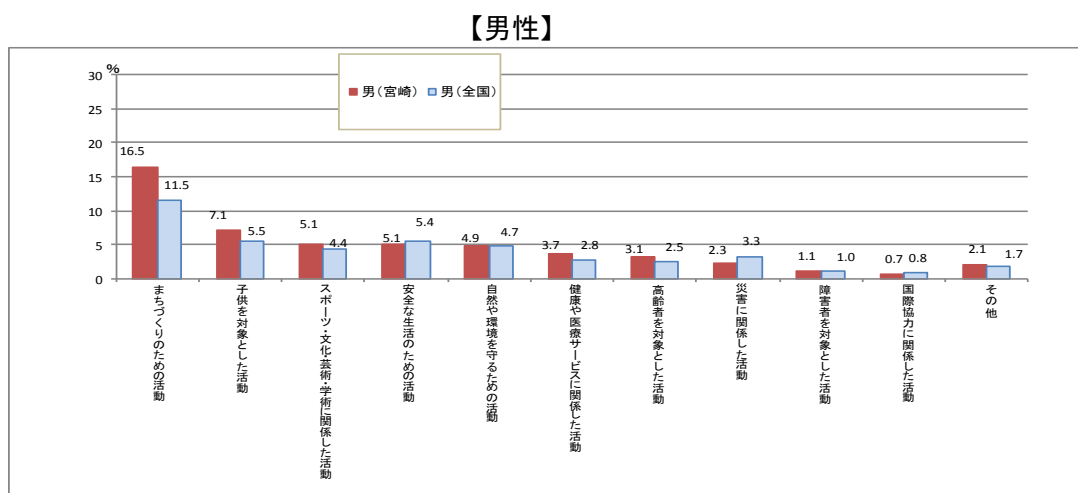


(3) 男女ともに「まちづくりのための活動」、「子供を対象とした活動」の行動者率が高い。

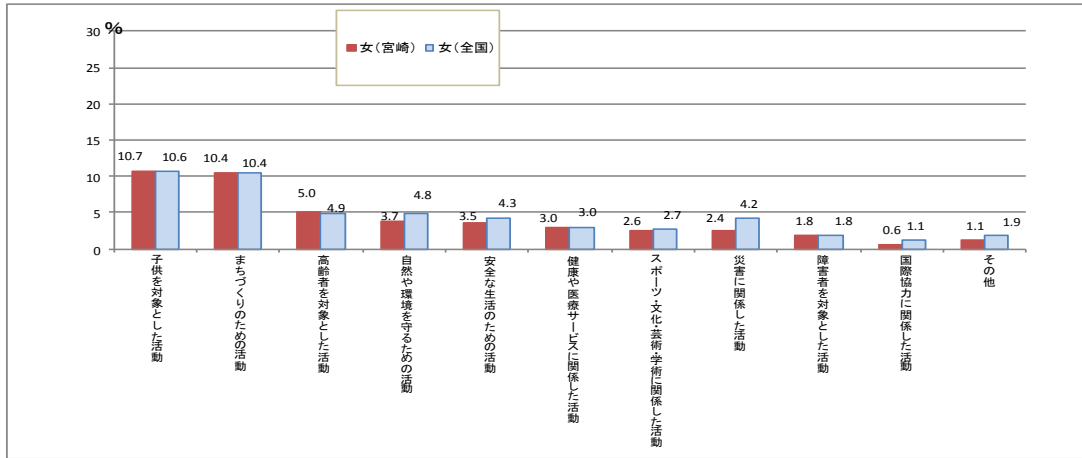
種類別に本県の行動者率をみると、男性は「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで「子供を対象とした活動」、「スポーツ・文化・芸術・学術に関する活動」が高い。女性は「子供を対象とした活動」が最も高く、次いで「まちづくりのための活動」、「高齢者を対象とした活動」の順となっている。

全国と比較すると、男性では「まちづくりのための活動」が全国平均を5.0ポイントも上回っているが、女性では特に大きく上回っている種類はない。また「災害に関する活動」は男性が1.0ポイント、女性が1.8ポイントそれぞれ全国平均を下回っている。(図2-3)

図2-3 本県と全国の男女別、種類別「ボランティア活動」行動者率



【女性】

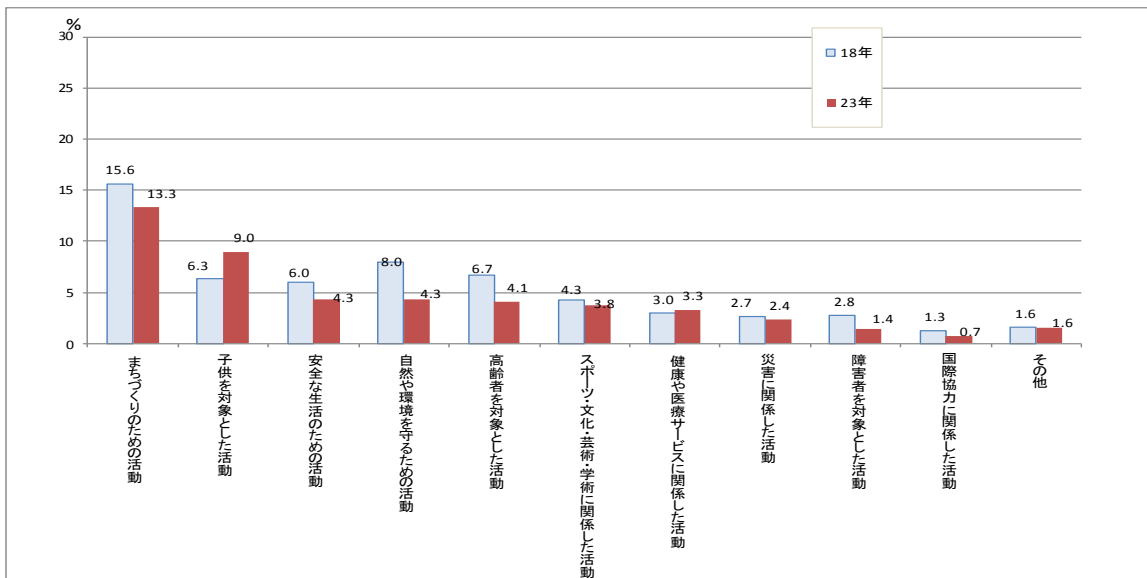


(4) 「子供を対象とした活動」が5年前と比べて上昇。

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、ほとんどの種類で低下している。

上昇が一番大きいものは「子供を対象とした活動」で2.7ポイントの上昇、次いで「健康や医療サービスに関係した活動」が0.3ポイントの上昇となっている。低下が一番大きいものは「自然や環境を守るための活動」で3.7ポイントの低下、次いで「高齢者を対象とした活動」が2.6ポイントの低下となっている。(図2-4)

図2-4 本県の「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成18年、23年)

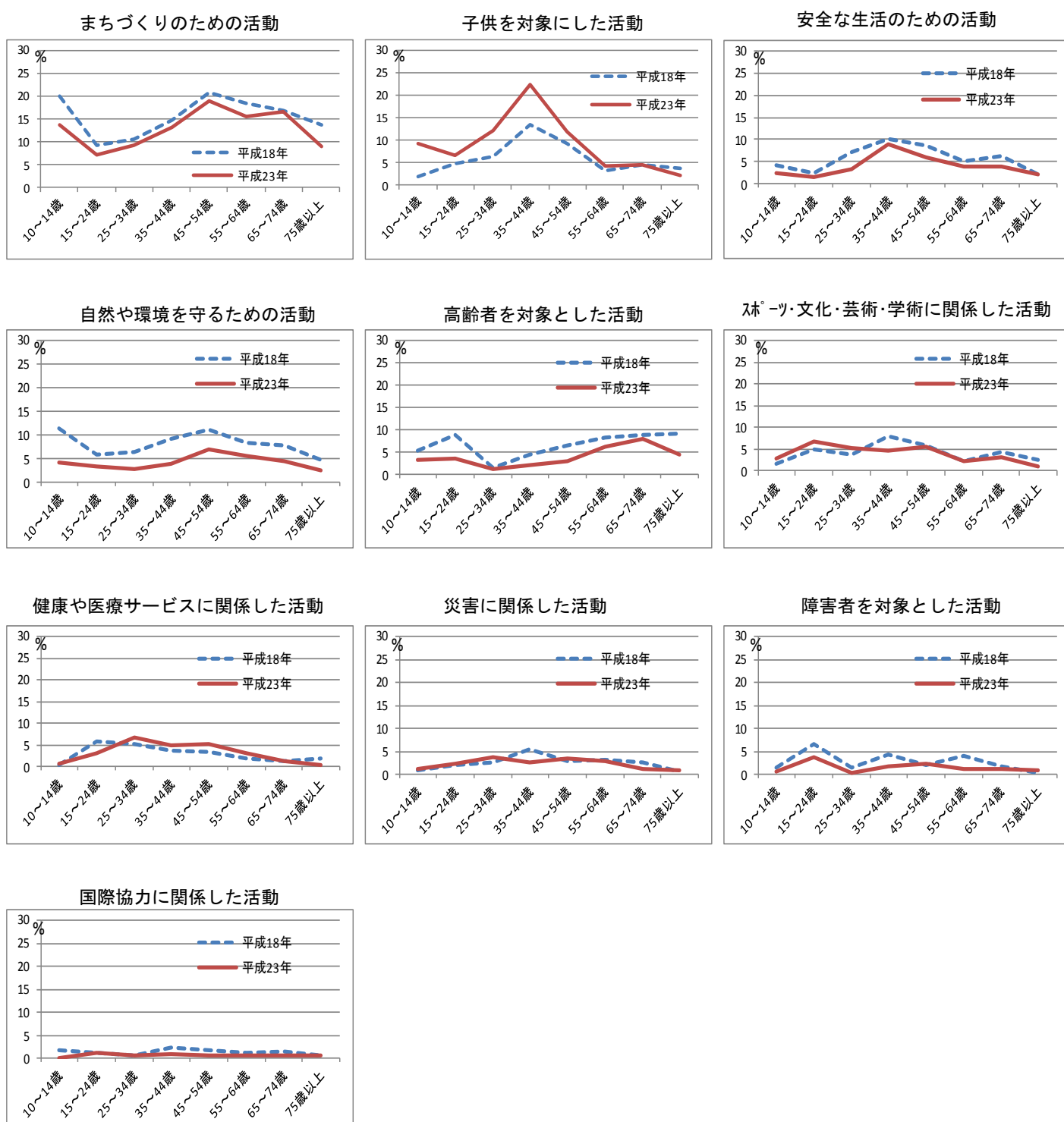


(5) 「子供を対象とした活動」は10～44歳の階級で5年前を大きく上回る。

「ボランティア活動」の行動者率を種類、年齢階級別に平成18年と比べると、「子供を対象とした活動」は10～44歳の階級で5年前を大きく上回っている。

一方、「まちづくりのための活動」、「自然や環境を守るための活動」、「高齢者を対象とした活動」は、すべての年齢階級で5年前を下回っている。(図2-5)

図2-5 本県の「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率(平成18年、23年)

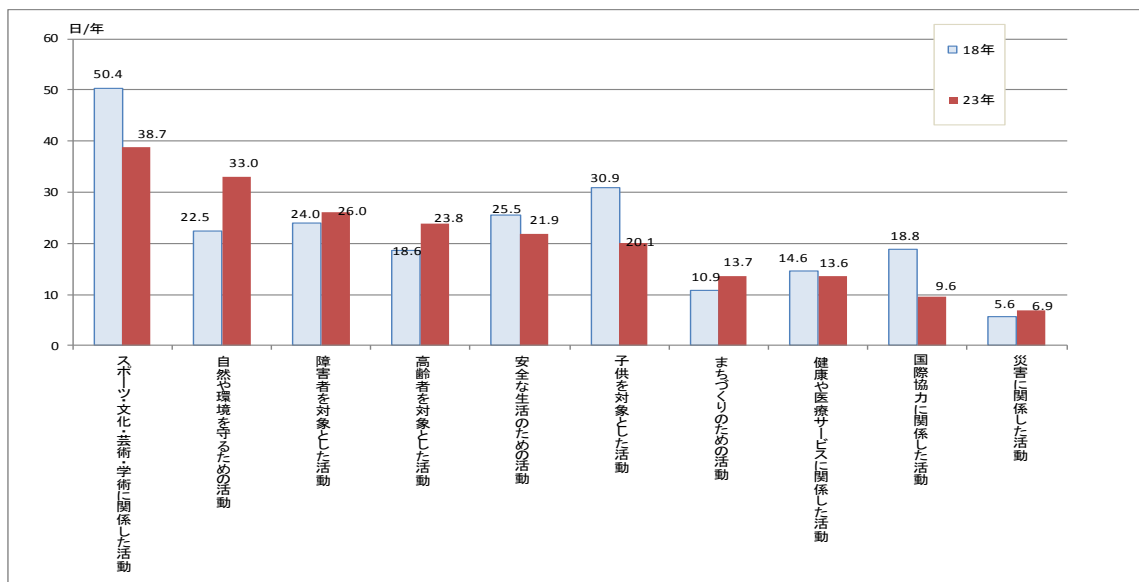


(6) 平均行動日数は「スポーツ・文化・芸術・学術に関する活動」が最も多い。

行動者について平均した過去1年間の行動日数（平均行動日数。以下同じ。）を種類別にみると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関する活動」が38.7日と最も多く、次いで「自然や環境を守るための活動」が33.0日などとなっている。

平成18年と比べると、「自然や環境を守るための活動」が10.5日増加、「高齢者を対象とした活動」が5.2日増加、「スポーツ・文化・芸術・学術に関する活動」が11.7日減少、「子供を対象とした活動」が10.8日減少などとなっている。（図2-6）

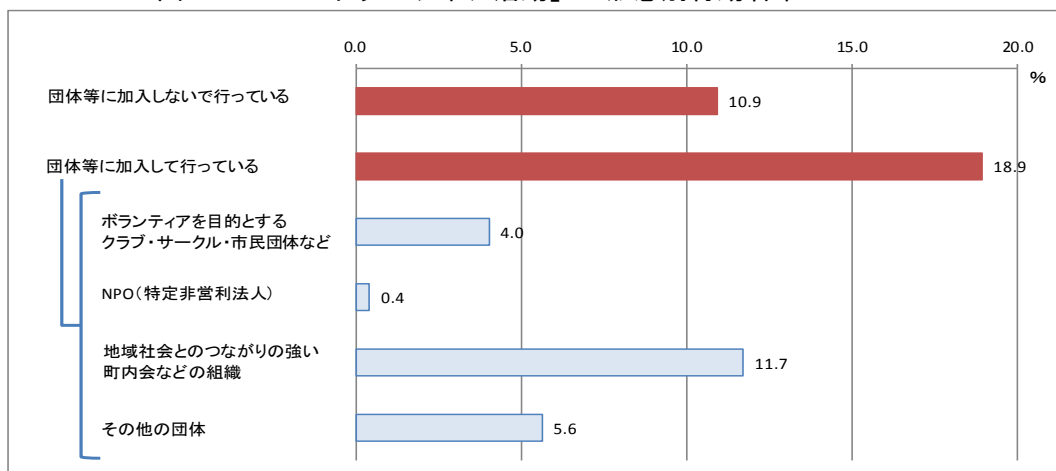
図2-6 「ボランティア活動」の種類別平均行動日数（平成18年、23年）



(7) 「地域社会とのつながりの強い町内会などの組織」に加入しての行動者率が最も高い。

「ボランティア活動」の行動者率を形態別にみると、団体等に参加して行っている活動が、参加しないで行っている活動よりも高くなっている。（図2-7）

図2-7 「ボランティア活動」の形態別行動者率



3 スポーツ

(1) 1年間に「スポーツ」を行った人は61万4千人、行動者率は61.9%。

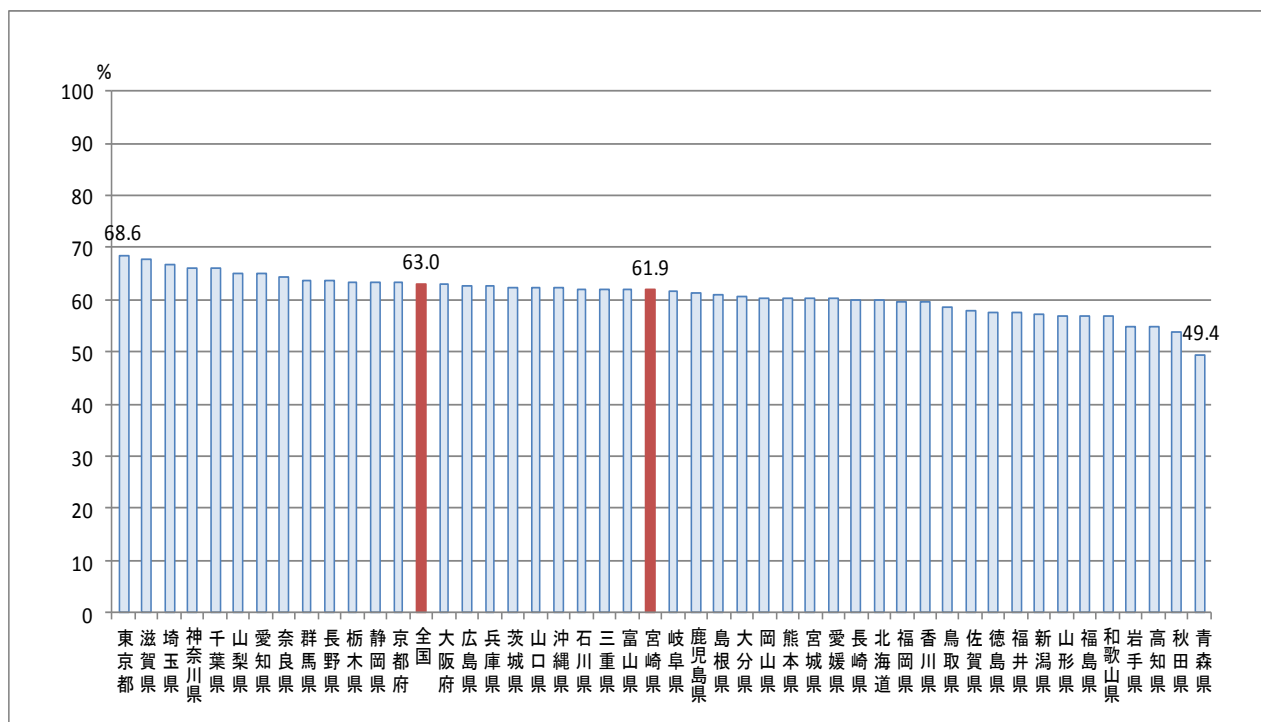
過去1年間の本県の10歳以上の「スポーツ」の行動者数は61万4千人で、10歳以上の行動者率は61.9%となっている。これは全国平均の63.0%に比べ1.1ポイント低く、全国順位で見ると第23位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が31万5千人、女性が29万9千人となっており、行動者率は男性が67.8%、女性が56.7%で、男性が女性より11.1ポイント高くなっている。

本県の行動者率は平成18年と比べると、4.6ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が3.4ポイント低下、女性が5.7ポイント低下となっている。

(図3-1)

図3-1 「スポーツ」の行動者率（10歳以上）

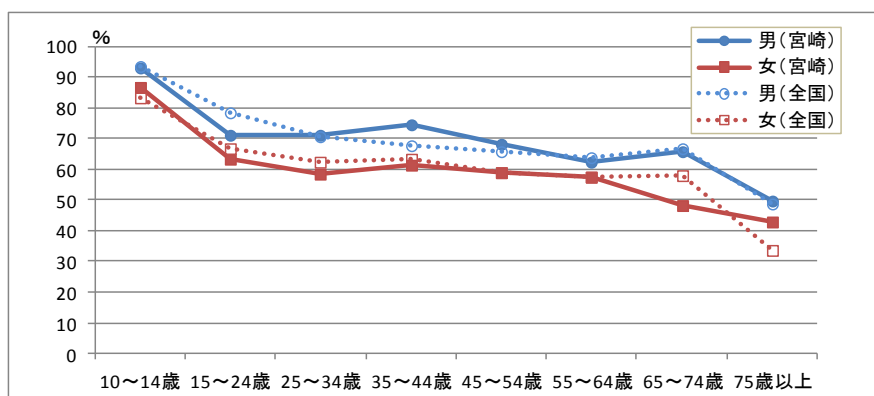


(2) すべての年齢階級で男性の行動者率が女性を上回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、すべての年齢階級で男性が女性を上回っている。特に25～44歳、65～74歳での差が大きい。

また、本県と全国を比べてみると、男性の10～24歳及び55～74歳は全国平均を下回り、25～54歳及び75歳以上は全国平均を上回っている。女性は10～14歳、75歳以上のみ全国平均を上回っている。(図3-2)

図3-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「スポーツ」行動者率

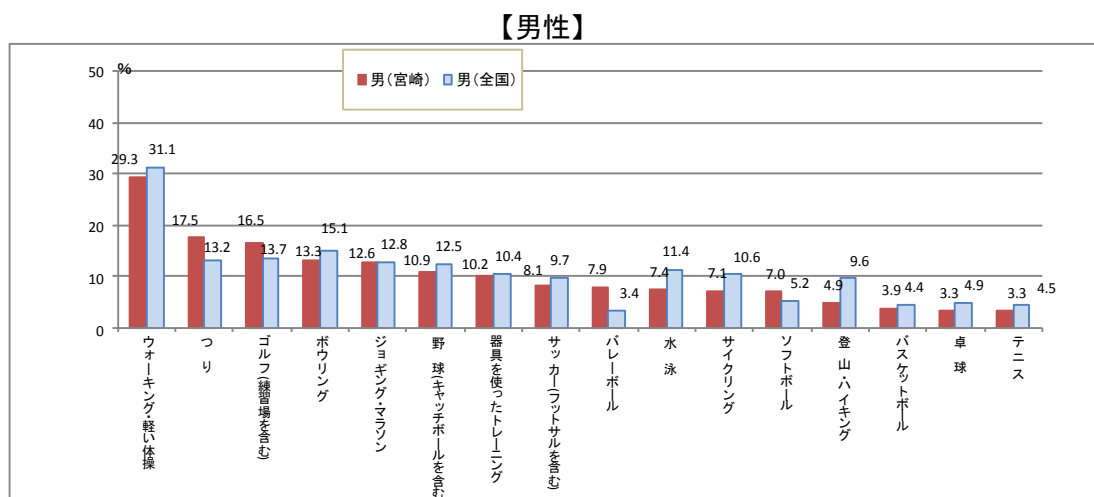


(3) 男女ともに「バレーボール」が全国1位。

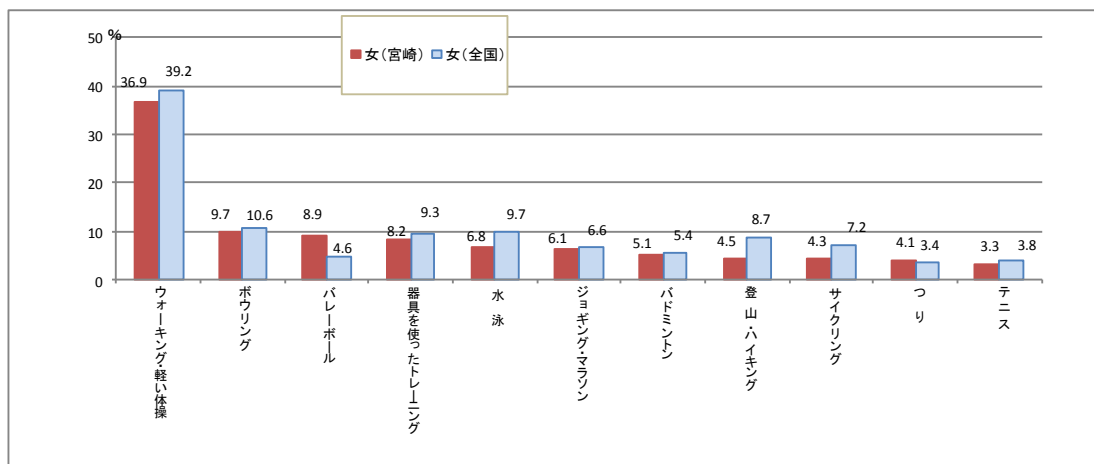
種類別に本県の行動者率をみると、男性は「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「つり」、「ゴルフ」が高い。女性は「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「ボウリング」、「バレーボール」の順となっている。

全国と比較すると、男女とも「バレーボール」が全国平均を4ポイント以上上回っており、総数(8.4%)、男女ともに全国1位となっている。一方、「登山・ハイキング」は全国平均を4ポイント以上下回っている。その他、男性については、「つり」が全国平均を上回っているのが目立つ。(図3-3)

図3-3 本県と全国の男女別、種類別「スポーツ」行動者率



【女性】



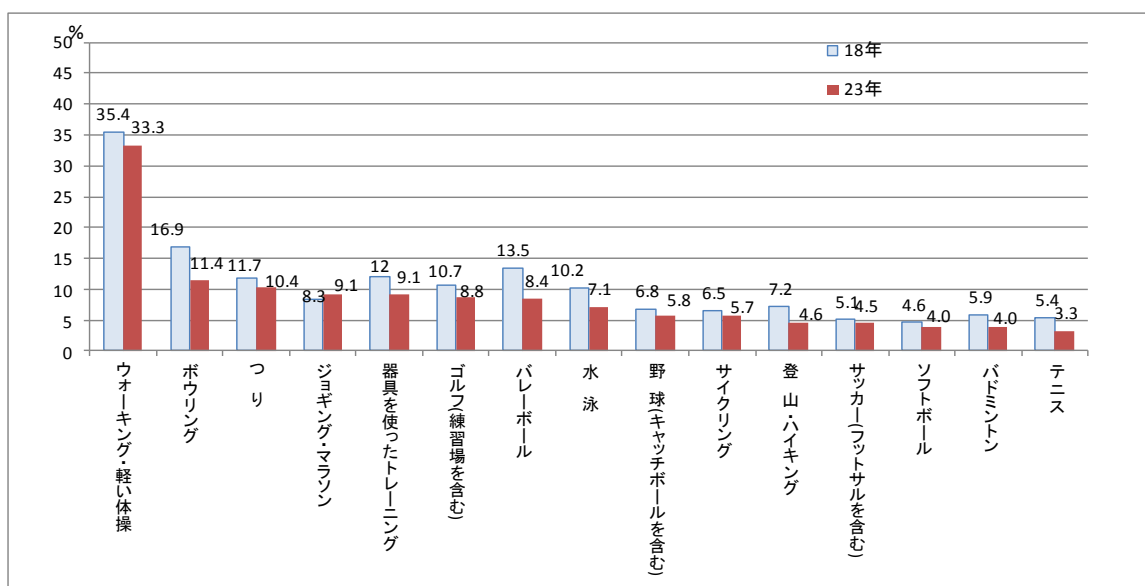
注) 行動者率 3%以上を表章。

(4) ほとんどの種類で行動者率が5年前を下回る。

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、ほとんどの種類で行動者率が下落している。低下が一番大きいものは「ボウリング」で5.5ポイントの低下、次いで「バレーボール」が5.1ポイントの低下となっている。

一方上昇したものは2種類のみで、「ジョギング・マラソン」が0.8ポイントの上昇、「スキー・スノーボード」が0.1ポイントの上昇となっている。(図3-4)

図3-4 本県の「スポーツ」の種類別行動者率(平成18年、23年)



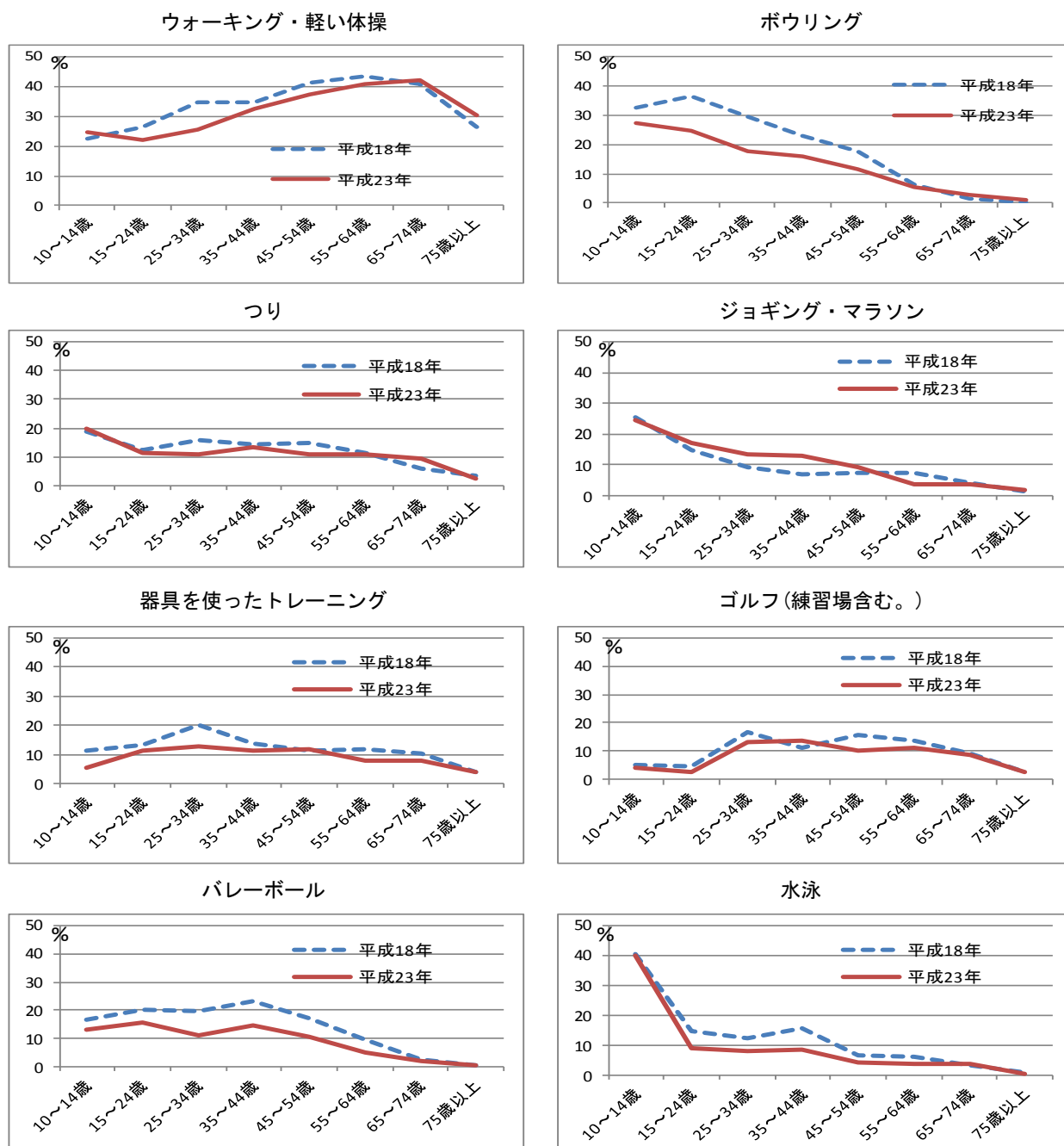
注) 平成23年行動者率 3%以上を表章。

(5) 「ジョギング・マラソン」は15～54歳及び75歳以上で5年前を上回る。

「スポーツ」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成18年と比べると、ほとんどの種類で、多くの年齢階級は低下している。特に10～64歳の階級では低下している種類が多く、55～64歳の階級では主な種類すべてで5年前を下回っている。

一方、「ジョギング・マラソン」は、15～54歳及び75歳以上で5年前を上回っている。(図3-5)

図3-5 「スポーツ」の主な種類、年齢階級別行動者率(平成18年、23年)



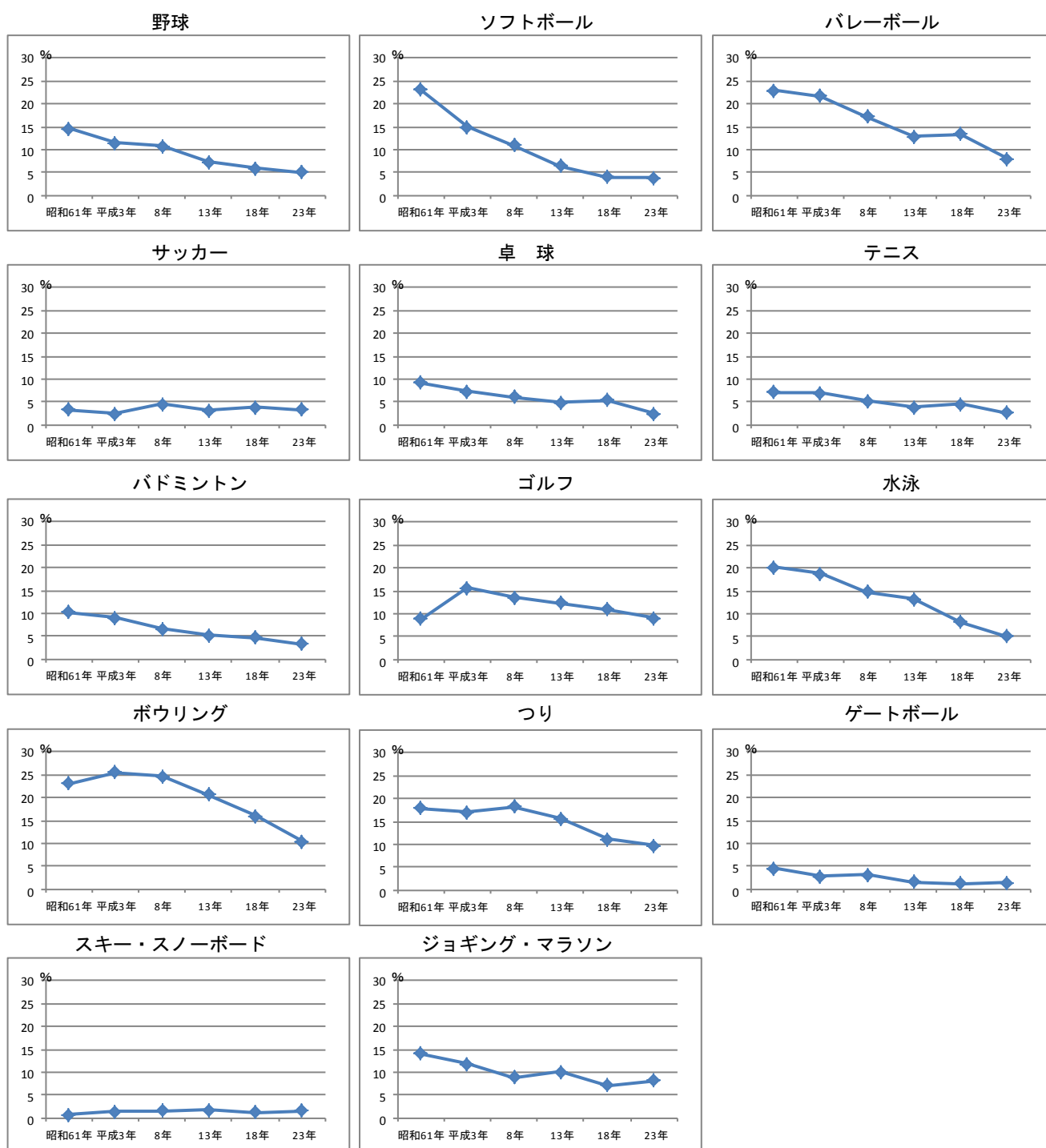
(6) 過去25年間の推移をみると、全体的に低下傾向。

過去25年間で比較可能な「スポーツ」の行動者率（15歳以上）の推移を種類別に見ると、全体的に低下傾向にある。（図3-6）

注）「スポーツ」の種類は、調査年次により種目数が異なるため比較可能な種類を表章。

「スキー・スノーボード」の平成3年以前の調査項目名は「スキー」。

図3-6 「スポーツ」の種類別行動者率の推移（15歳以上）



4 趣味・娯楽

(1) 1年間に「趣味・娯楽」を行った人は78万人、行動者率は78.7%。

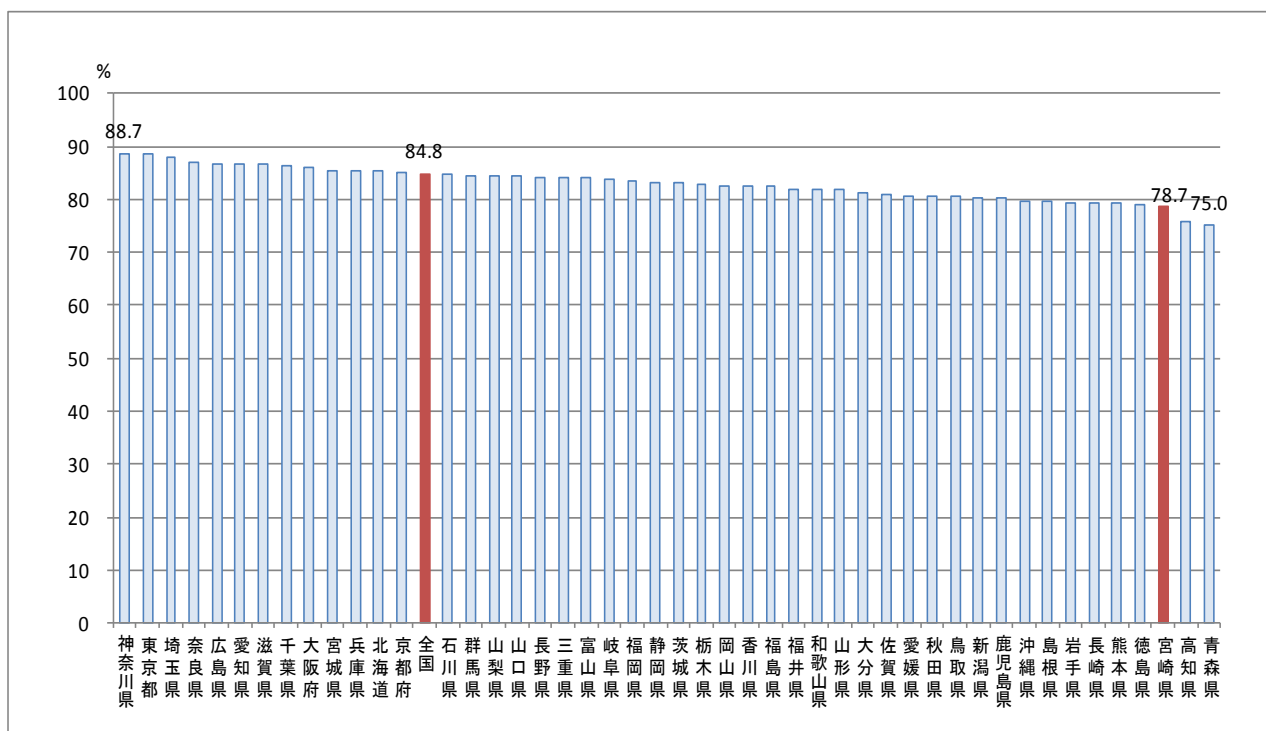
過去1年間の本県の10歳以上の「趣味・娯楽」の行動者数は78万人で、10歳以上の行動者率は78.7%となっている。これは全国平均の84.8%に比べ6.1ポイント低く、全国順位で見ると第45位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が36万6千人、女性が41万4千人となっており、行動者率は男性が78.7%、女性が78.7%で、同率となっている。

本県の行動者率は平成18年と比べると、3.2ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が2.1ポイント低下、女性が4.2ポイント低下となっている。

(図4-1)

図4-1 「趣味・娯楽」の行動者率(10歳以上)

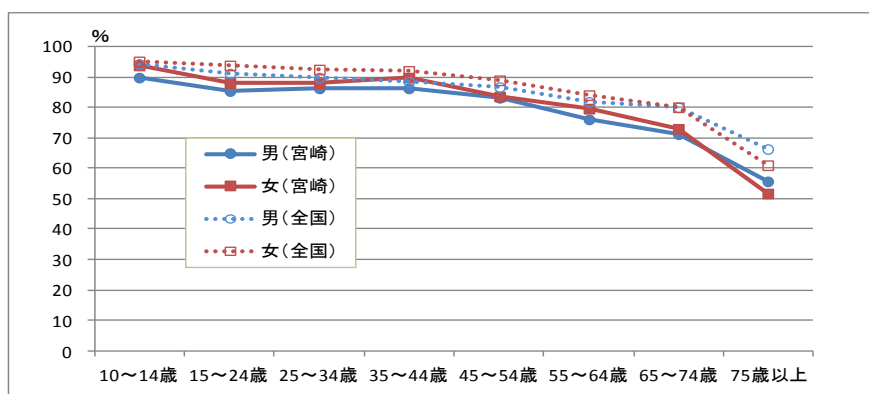


(2) 男女ともにすべての年齢階級で全国平均を下回る。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、75歳以上を除くすべての年齢階級で女性が男性を上回っている。

また、本県と全国を比べてみると、男女ともにすべての年齢階級で全国平均を下回っており、特に65～75歳以上で全国平均を大きく下回っている。(図4-2)

図4-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「趣味・娯楽」行動者率



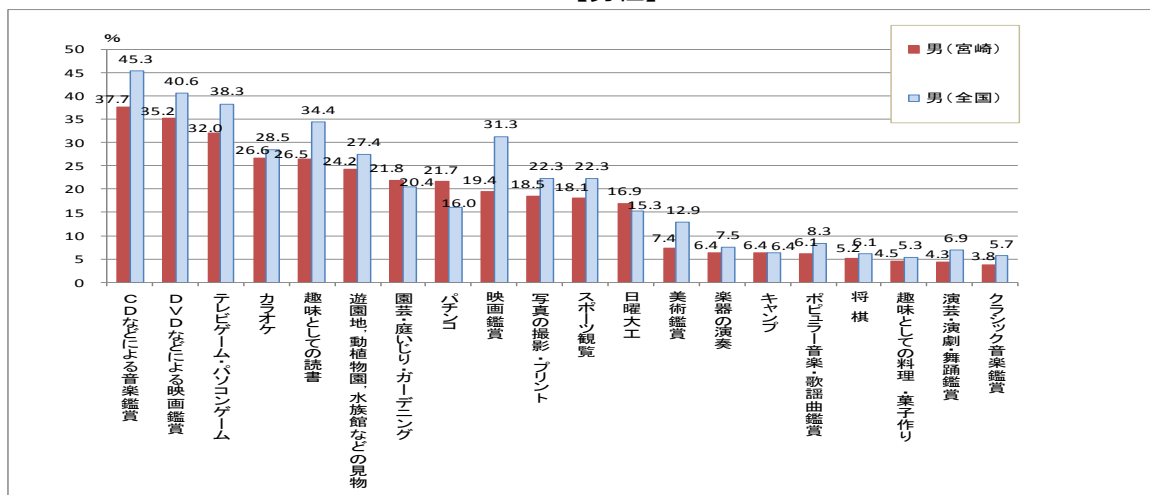
(3) 「パチンコ」は総数で全国1位、男性は全国2位、女性も全国2位。

種類別に本県の行動者率をみると、男性は「CDなどによる音楽鑑賞」が最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」、「テレビゲーム・パソコンゲーム」が高い。女性は「CDなどによる音楽鑑賞」が最も高く、次いで「趣味としての読書」、「DVDなどによる映画鑑賞」の順となっている。

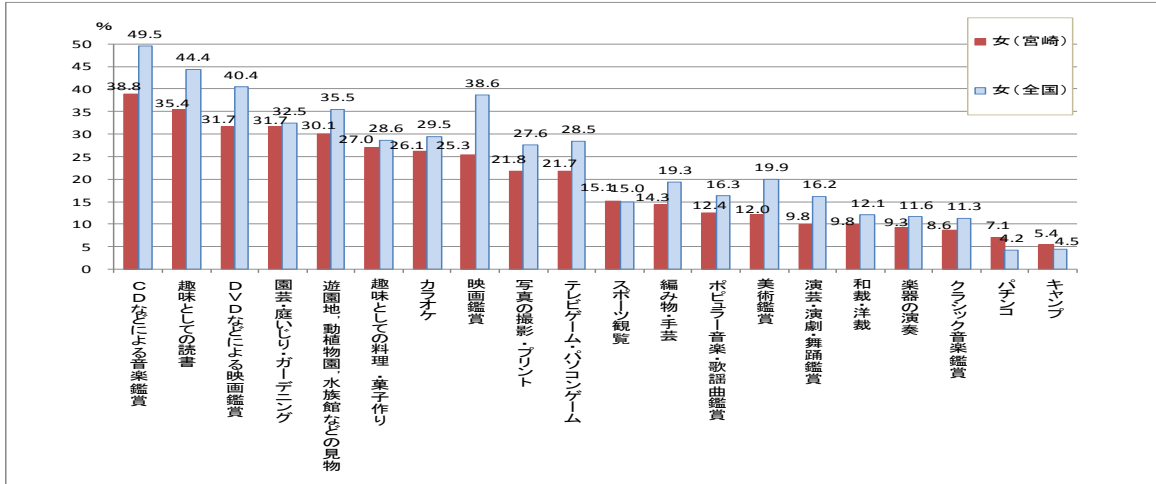
全国と比較すると、男女とも多くの種類で全国平均を下回っている。男女ともに「映画鑑賞」が最も下回っており、「趣味としての読書」、「CDなどによる音楽鑑賞」も大きく下回っている。一方、「パチンコ」は総数(13.9%)で全国1位、男性は全国2位、女性も全国2位となっている。(図4-3)

図4-3 本県と全国の男女別、種類別「趣味・娯楽」行動者率

【男性】



【女性】



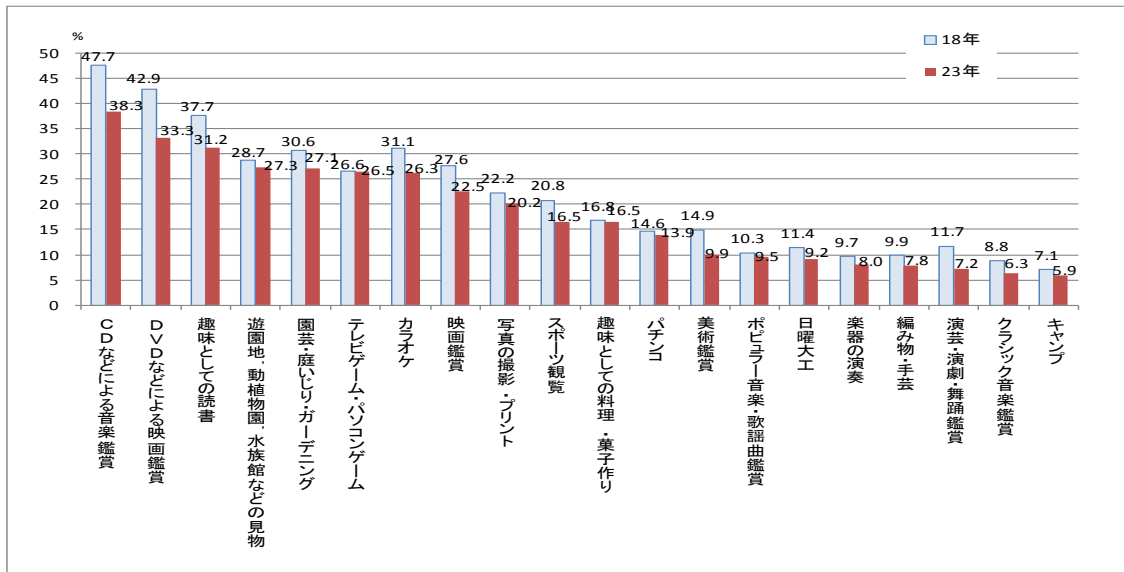
注) 行動者率が上位 20 の種類を表章。

(4) ほとんどの種類で行動者率が5年前を下回る。

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、ほとんどの種類で行動者率が下落している。低下が一番大きいものは「DVDなどによる映画鑑賞」で9.6ポイントの低下、次いで「CDなどによる音楽鑑賞」が9.4ポイントの低下となっている。

一方上昇したものは2種類のみで、「茶道」が0.3ポイントの上昇、「華道」が0.1ポイントの上昇となっている。(図4-4)

図4-4 本県の「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成18年、23年)



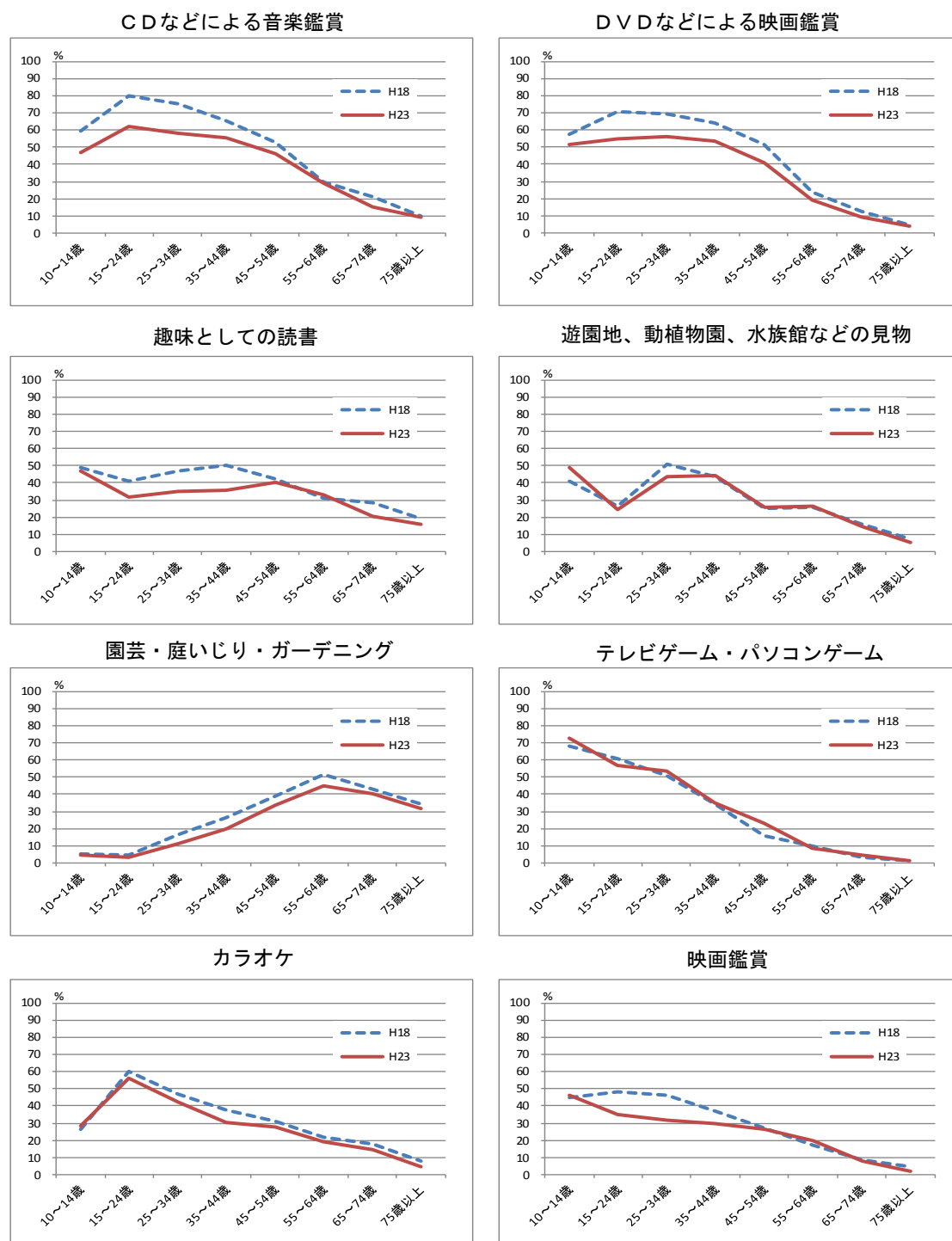
注) 行動者率が上位 20 の種類を表章。

(5) 「テレビゲーム・パソコンゲーム」は多くの年齢階級で5年前を上回る。

「趣味・娯楽」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成18年と比べると、「テレビゲーム・パソコンゲーム」は多くの年齢階級で5年前を上回っている。

一方、その他の種類についてはほとんどの年齢階級で5年前を下回っている。「CDなどによる音楽鑑賞」、「DVDなどによる映画鑑賞」、「映画鑑賞」は15～34歳で大きく下回り、「趣味としての読書」は25～44歳で大きく下回っている。(図4-5)

図4-5 「趣味・娯楽」の主な種類、年齢階級別行動者率(平成18年、23年)



(6) 過去25年間の推移をみると、「テレビゲーム・パソコンゲーム」は大きく上昇。

過去25年間で比較可能な「趣味・娯楽」の行動者率（15歳以上）の推移を種類別に見ると、「テレビゲーム・パソコンゲーム」は大きく上昇している。

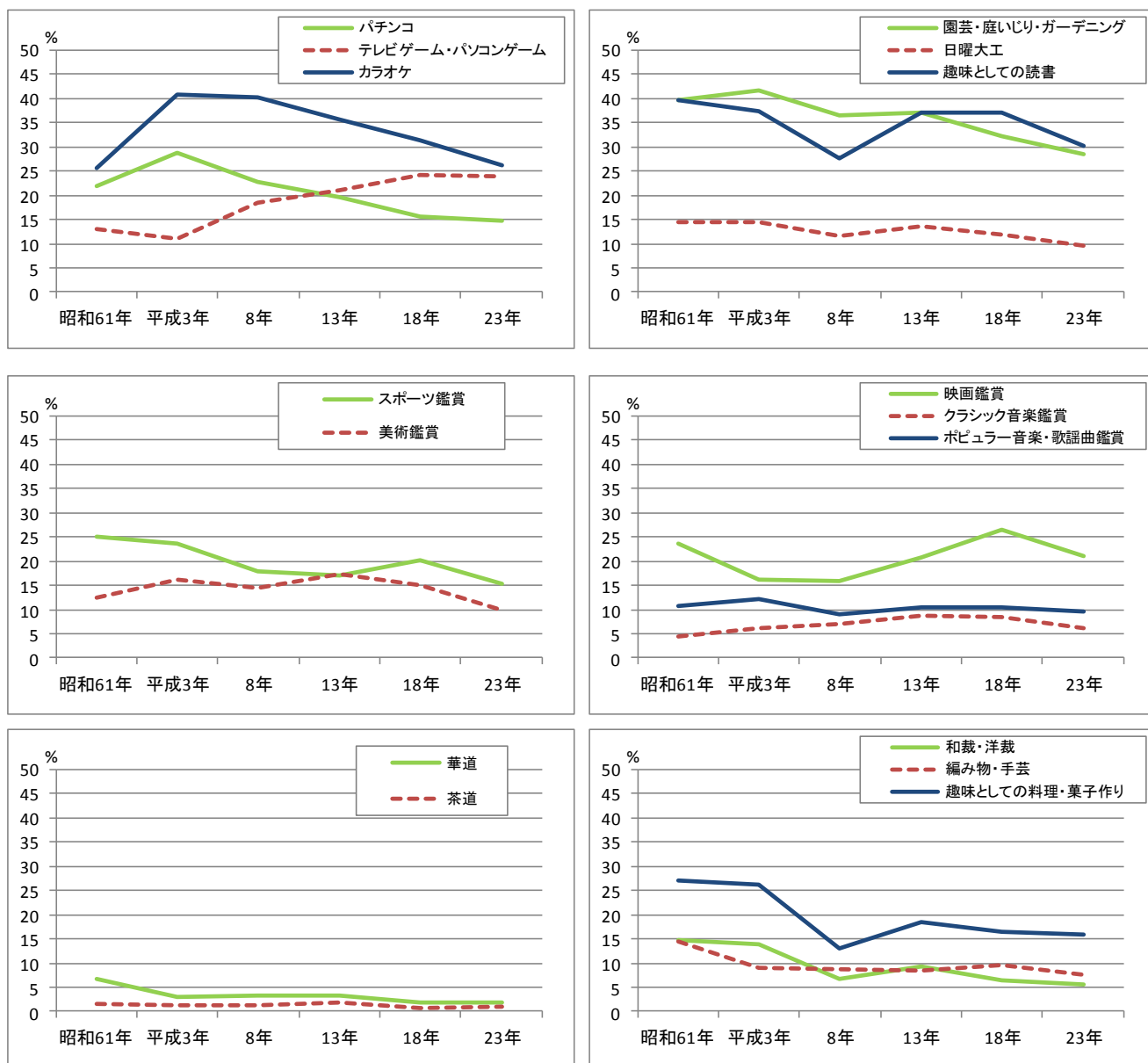
一方、「カラオケ」、「パチンコ」は平成3年をピークに低下傾向にある。（図4-6）

注）「趣味・娯楽」の種類は、調査年次により種目数が異なるため比較可能な種類を表章。

「趣味としての料理・菓子作り」の平成3年以前の調査項目名は「料理・菓子作り」。

「テレビゲーム・パソコンゲーム」の平成13年以前の調査項目名は「テレビゲーム」。

図4-6 「趣味・娯楽」の種類別行動者率の推移（15歳以上）



5 旅行・行楽

(1) 1年間に「旅行・行楽」を行った人は64万3千人、行動者率は64.9%。

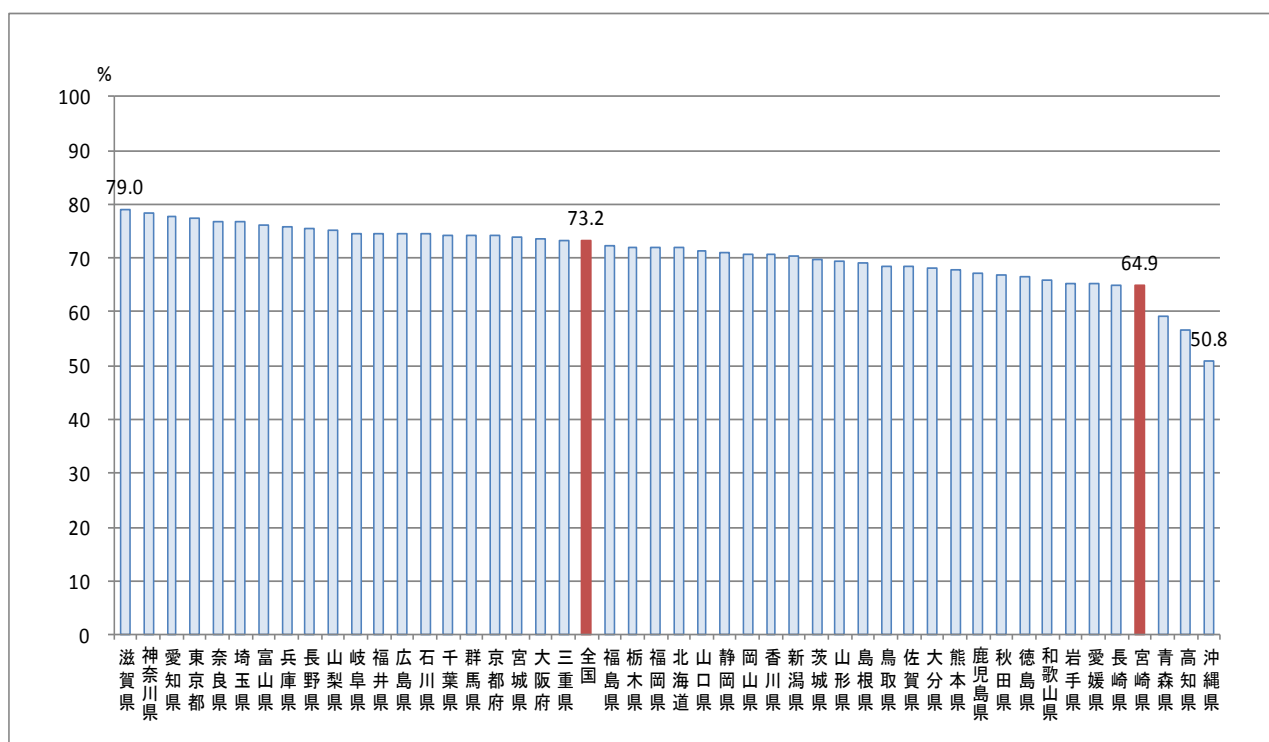
過去1年間に本県の10歳以上で「旅行・行楽」の行動者数64万3千人で、10歳以上行動者率は64.9%となっている。これは全国平均の73.2%に比べ8.3ポイント低く、全国順位で見ると第44位となっている。

男女別にみると、行動者数は男性が29万2千人、女性が35万1千人となっており、行動者率は男性が62.8%、女性が66.6%で、女性が男性より3.8ポイント高くなっている。

本県の行動者率は平成18年と比べると、6.4ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が6.1ポイント低下、女性がポイント6.9ポイント低下となっている。

(図5-1)

図5-1 「旅行・行楽」の行動者率(10歳以上)

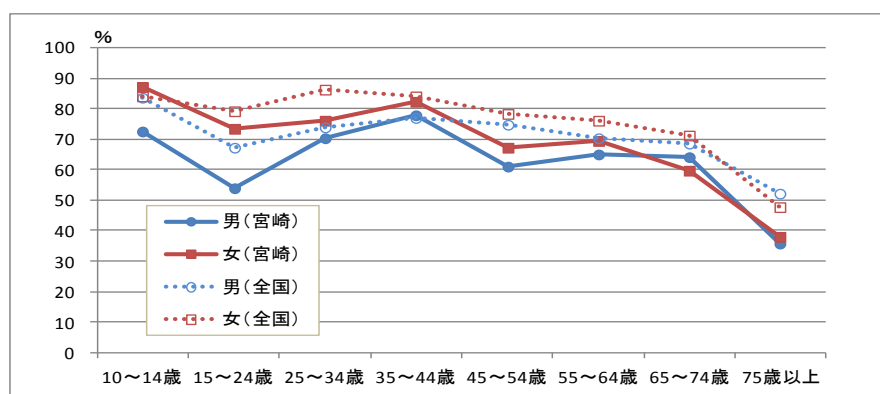


(2) 65～74 歳以外の年齢階級で女性が男性を上回り、特に 10～24 歳での差が大きい。

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、65～74 歳以外の年齢階級で女性が男性を上回っている。特に 10～24 歳での差が大きい。

また、本県と全国を比べてみると、男性は 35～44 歳以外、女性は 10～14 歳以外で全国平均を下回っており、特に男性は 75 歳以上、女性は 65～74 歳以上の階級で全国平均を大きく下回っている。(図 5-2)

図 5-2 本県と全国の男女別、年齢階級別「旅行・行楽」行動者率



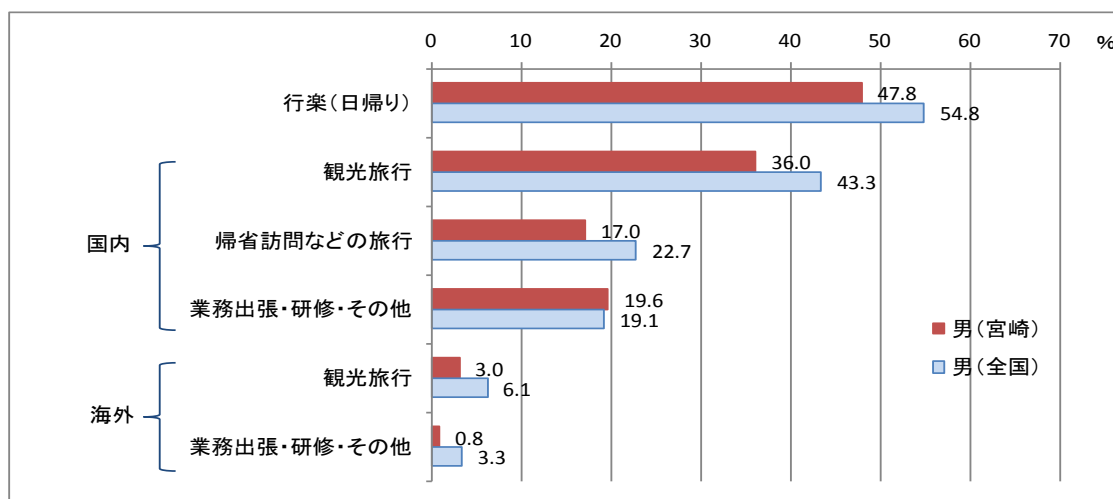
(3) 男女ともに国内の「業務出張・研修・その他」のみ全国平均を上回る。

種類別に本県の行動者率をみると、国内および海外の「業務出張・研修・その他」を除き、全ての種類で女性の方が高くなっている。

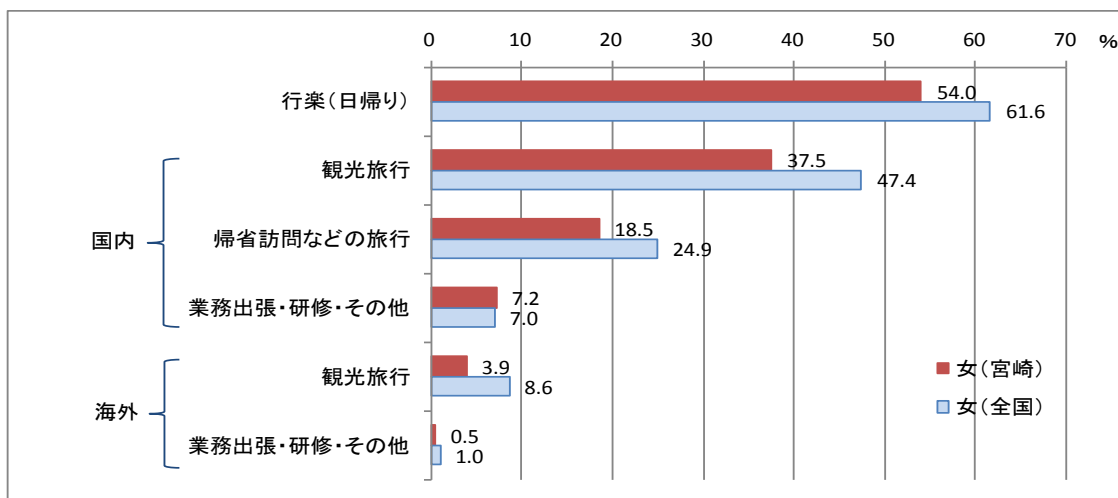
全国と比較すると、男女ともに国内の「業務出張・研修・その他」のみ全国平均を上回っている。(図 5-3)

図 5-3 本県と全国の男女別、種類別「旅行・行楽」行動者率

【男性】



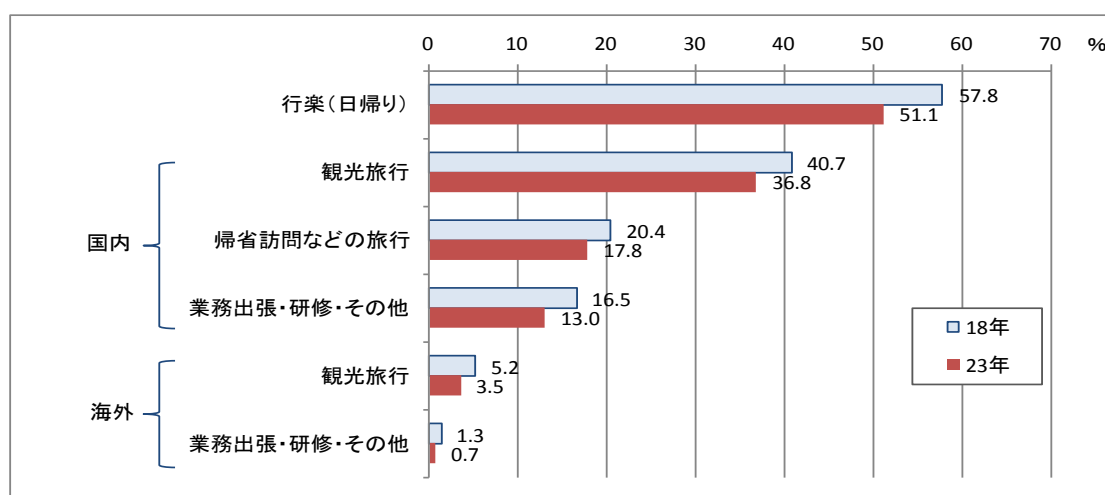
【女性】



(4) 全ての種類で行動者率が5年前を下回る。

本県の行動者率を種類別に5年前と比較すると、全ての種類で行動者率が下落している。低下が一番大きいものは「行楽（日帰り）」で6.7ポイントの低下、次いで国内の「観光旅行」が3.9ポイントの低下、国内の「業務出張・研修・その他」が3.5ポイントの低下となっている。（図5-4）

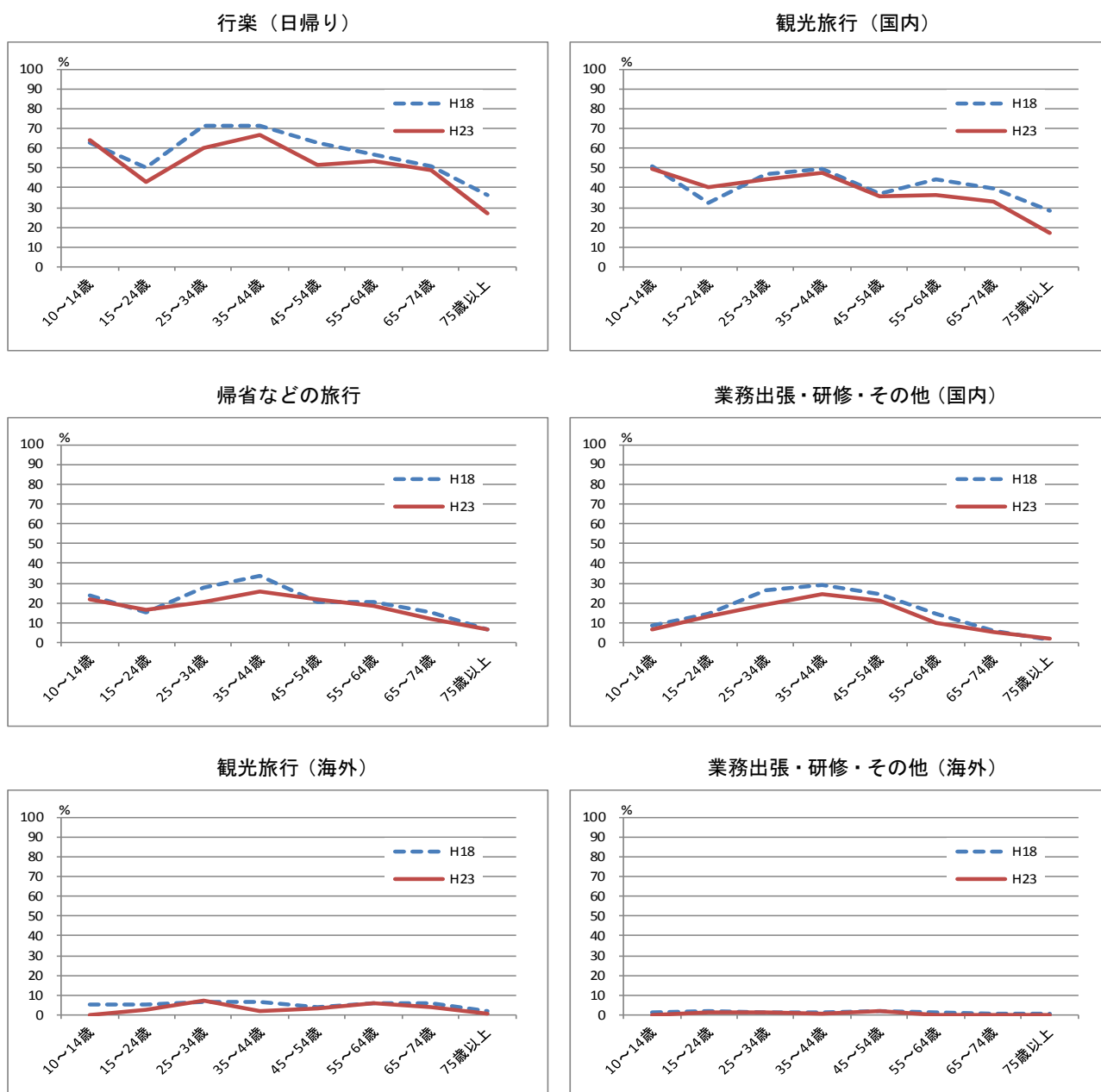
図5-4 本県の「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成18年、23年）



(5) 「観光旅行（国内）」は特に55歳以上の年齢階級で5年前を下回る。

「旅行・行楽」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成18年と比べると、全ての種類について、多くの年齢階級で5年前を下回っている。「観光旅行（国内）」については、55歳以上の年齢階級で特に低下している。（図5-5）

図5-5 「旅行・行楽」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成18年、23年）

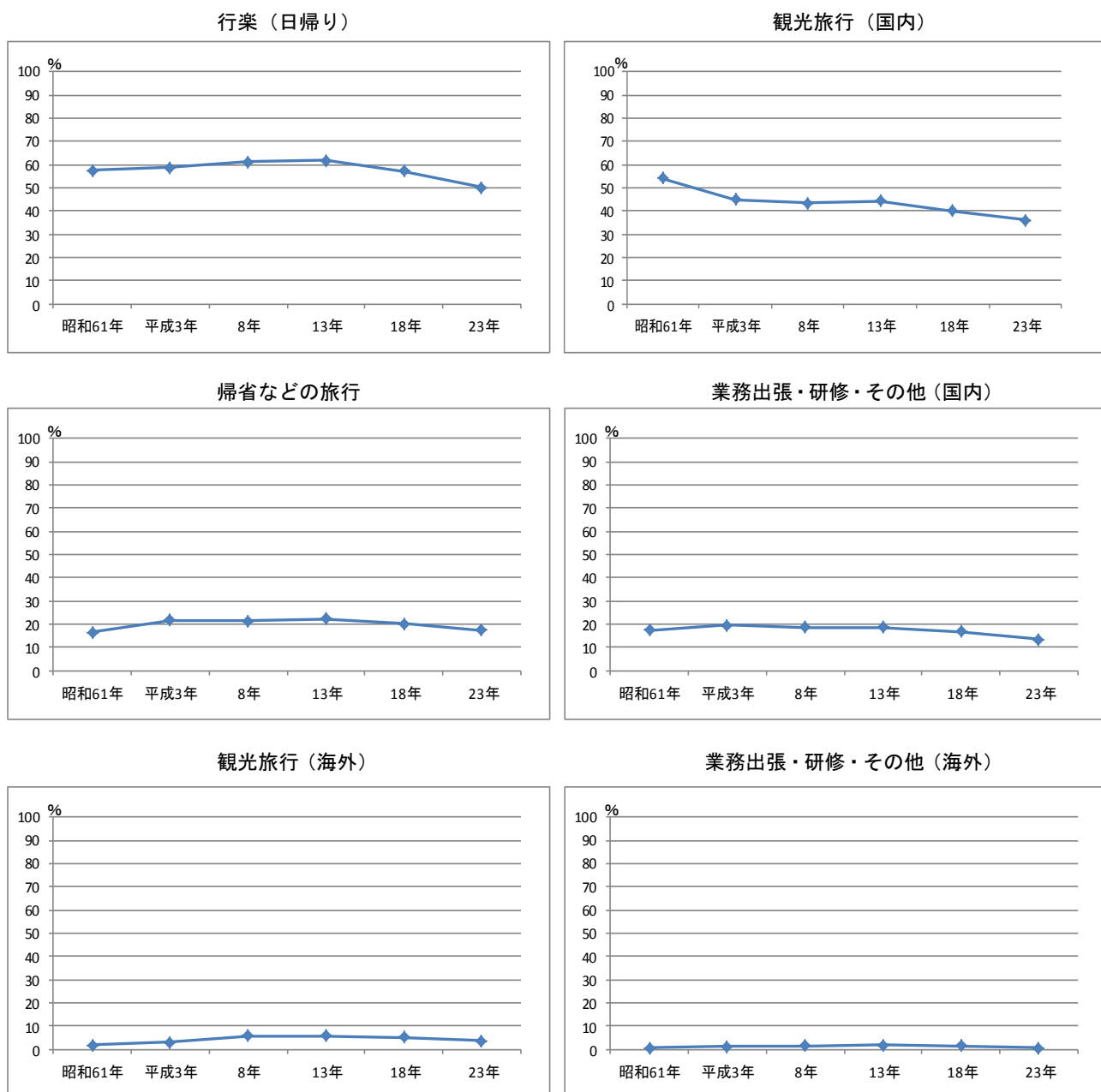


(6) 過去25年間の推移をみると、平成18年以降すべての種類が低下傾向。

過去25年間で比較可能な「旅行・行楽」の行動者率（15歳以上）の推移を種類別に見ると、平成18年以降すべての種類が低下傾向にある。

国内の観光旅行はピークの昭和61年と比べると大きく低下し、18.1ポイントの低下となっている。（図5-6）

図5-6 「旅行・行楽」の種類別行動者率の推移（15歳以上）



生活行動別行動者率全国ランキング（総数）

学習・自己啓発・訓練		ボランティア活動		スポーツ		趣味・娯楽		旅行・行楽	
	全国 35.2		全国 26.3		全国 63.0		全国 84.8		全国 73.2
1	東京都 44.7	1	山形県 35.3	1	東京都 68.6	1	神奈川県 88.7	1	滋賀県 79.0
2	神奈川県 42.1	2	島根県 34.8	2	滋賀県 67.9	2	東京都 88.5	2	神奈川県 78.3
3	滋賀県 39.2	3	鹿児島県 34.4	3	埼玉県 66.9	3	埼玉県 87.9	3	愛知県 77.6
4	奈良県 38.4	4	鳥取県 33.9	4	神奈川県 66.1	4	奈良県 87.1	4	東京都 77.3
5	京都府 37.9	5	岩手県 33.7	5	千葉県 66.0	5	広島県 86.7	5	奈良県 76.8
6	千葉県 37.7	6	長野県 33.1	6	山梨県 65.2	6	愛知県 86.6	6	埼玉県 76.7
7	兵庫県 37.1	7	岐阜県 32.8	7	愛知県 65.1		滋賀県 86.6	7	富山県 76.1
8	埼玉県 36.8	8	滋賀県 32.6	8	奈良県 64.5	8	千葉県 86.2	8	兵庫県 75.9
9	大阪府 36.5	9	佐賀県 31.8	9	群馬県 63.7	9	大阪府 85.9	9	長野県 75.3
10	宮城県 35.8	10	福井県 31.3		長野県 63.7	10	宮城県 85.5	10	山梨県 75.0
	長野県 35.8		岡山県 31.3	11	栃木県 63.4		兵庫県 85.5	11	岐阜県 74.6
12	広島県 35.2	12	山梨県 31.2	12	静岡県 63.3	12	北海道 85.3	12	福井県 74.5
13	福岡県 34.2	13	山口県 31.0		京都府 63.3	13	京都府 84.9		広島県 74.5
14	愛知県 33.4	14	宮城県 30.7	14	大阪府 62.9	14	石川県 84.6	14	石川県 74.4
15	山梨県 33.2		熊本県 30.7	15	広島県 62.7	15	群馬県 84.5	15	千葉県 74.2
16	茨城県 32.9	16	富山県 29.6	16	兵庫県 62.6		山梨県 84.5	16	群馬県 74.1
	岡山県 32.9	17	群馬県 29.2	17	茨城県 62.3		山口県 84.5		京都府 74.1
18	島根県 32.6		石川県 29.2		山口県 62.3	18	長野県 84.2	18	宮城県 73.9
19	福井県 32.5	19	秋田県 28.9		沖縄県 62.3		三重県 84.2	19	大阪府 73.5
20	静岡県 32.0		広島県 28.9	20	石川県 62.1	20	富山県 84.1	20	三重県 73.3
	香川県 32.0		大分県 28.9		三重県 62.1	21	岐阜県 83.8	21	福島県 72.3
22	岐阜県 31.9	22	静岡県 28.5	22	富山県 62.0	22	福岡県 83.5	22	栃木県 72.1
23	三重県 31.8	23	香川県 27.8	23	宮崎県 61.9	23	静岡県 83.2		福岡県 72.1
24	石川県 31.7		宮崎県 27.8	24	岐阜県 61.7	24	茨城県 83.0	24	北海道 72.0
25	北海道 31.5	25	奈良県 27.7	25	鹿児島県 61.4	25	栃木県 82.8	25	山口県 71.2
	富山県 31.5	26	愛媛県 27.4	26	島根県 60.9	26	岡山県 82.5	26	静岡県 71.0
	鳥取県 31.5	27	福岡県 27.3	27	大分県 60.6		香川県 82.5	27	岡山県 70.7
28	愛媛県 31.4	28	福島県 27.2	28	岡山県 60.3	28	福島県 82.4		香川県 70.7
	沖縄県 31.4	29	長崎県 26.9	29	熊本県 60.3	29	福井県 82.0	29	新潟県 70.4
30	群馬県 31.3	30	三重県 26.7	30	宮城県 60.2		和歌山県 82.0	30	茨城県 69.6
	山口県 31.3	31	栃木県 26.2		愛媛県 60.2	31	山形県 81.7	31	山形県 69.5
32	佐賀県 31.1	32	千葉県 26.0	32	長崎県 60.1	32	大分県 81.1	32	島根県 69.2
33	大分県 30.6	33	茨城県 25.8	33	北海道 60.0	33	佐賀県 80.8	33	鳥取県 68.4
34	岩手県 30.3	34	兵庫県 25.7	34	福岡県 59.6	34	愛媛県 80.7		佐賀県 68.4
35	熊本県 30.2	35	東京都 24.6	35	香川県 59.5	35	秋田県 80.6	35	大分県 68.1
36	和歌山県 29.7	36	神奈川県 24.4	36	鳥取県 58.5		鳥取県 80.6	36	熊本県 67.7
37	宮崎県 29.6	37	徳島県 24.3	37	佐賀県 57.8	37	新潟県 80.4	37	鹿児島県 67.0
	鹿児島県 29.6	38	和歌山県 24.2	38	徳島県 57.5	38	鹿児島県 80.3	38	秋田県 66.8
39	栃木県 29.4	39	埼玉県 24.0	39	福井県 57.4	39	沖縄県 79.7	39	徳島県 66.5
40	長崎県 29.2	40	北海道 23.8	40	新潟県 57.2	40	島根県 79.5	40	和歌山県 66.0
41	徳島県 28.5	41	高知県 23.7	41	山形県 57.0	41	岩手県 79.4	41	岩手県 65.2
42	福島県 28.1	42	新潟県 23.5	42	福島県 57.0		長崎県 79.4		愛媛県 65.2
43	山形県 28.0	43	京都府 23.2	43	和歌山県 56.9	43	熊本県 79.3	43	長崎県 65.0
44	高知県 27.8	44	愛知県 23.1	44	岩手県 55.0	44	徳島県 79.1	44	宮崎県 64.9
45	新潟県 27.0	45	青森県 22.7	45	高知県 54.7	45	宮崎県 78.7	45	青森県 59.1
46	青森県 26.0	46	沖縄県 22.4	46	秋田県 53.9	46	高知県 75.7	46	高知県 56.7
47	秋田県 25.4	47	大阪府 20.6	47	青森県 49.4	47	青森県 75.0	47	沖縄県 50.8